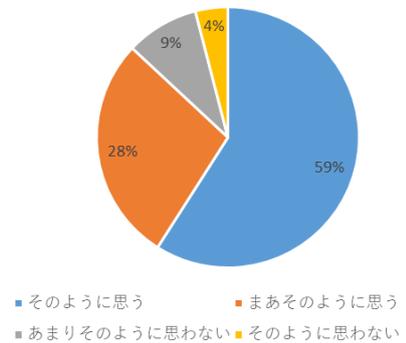


1 自己評価結果

令和4年度、1年生から4年生の子供に対しアンケートを行ったところ、「『英語でGO』の内容は、分かりやすく、楽しいですか」という質問に対し、全体の87%が「そのように思う」「まあそのように思う」と回答しました。1年生から毎日継続して視聴していることで、英語に慣れ親しみ、「話すこと」「聞くこと」の素地を育てることができていると言えます。また、「読むこと」「書くこと」にもつながる指導を心掛けています。テレビ画面に映し出されるキーセンテンスを教師が指し示し、子供たちは、それを読みながら発話したり、フォニックスの学習で用意したシートに、アルファベットのなぞり書きをしたりしました。

【資料1】 児童のアンケート結果



【資料2】

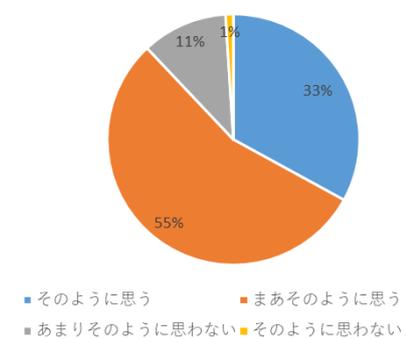
「英語でゴー」での様子



2 学校関係者評価結果

令和4年度に行った保護者向けのアンケートでは、「学校は『英語でゴー』や外国語活動、外国語科の授業に進んで取り組み、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする子供の育成に努めている」という質問に対し、「そのように思う」「まあそのように思う」と回答した保護者は、全体の88%でした。このことから、学校の取組は、保護者に周知されていると言えます。しかし、昨年の結果と比べると5%減少していたことから、学校参観等で「英語でゴー」に取り組む子供の様子を見る機会を設けるとよいと感じました。

【資料3】 保護者のアンケート結果



3 まとめ

資料1から、子供は日々のDVD視聴を通じて、楽しみながら英語を進んで話したり聞いたりすることができていると言えます。また、資料3では、子供が、「英語でゴー」の楽しさや学びを家庭でも話題にしていることが分かります。今後の課題としては、「読むこと」「書くこと」にもつながる指導を一層充実させることです。